

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

おうぼさんこふん

## 王墓山古墳

新高総早  
見梁社島  
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠  
掛原口庄岡  
町市市町市



場所

倉敷市庄新町



時代

古墳時代



指定年月日

昭和34(1959)年  
3月27日



所有

倉敷市



し せき

### この史跡について

おうぼ やまきゆうりよう こふん めいじ は かい いちじる  
王墓山丘陵に存在するこの古墳は、明治の終わりに破壊されて、その形が著しく変わってしまっており、その大きさや形については明らかではありません。石室は横穴式だったと思われ  
ますが、これも石材が抜き取られています。

い ぼら し さんしゆつ なみがたいし いえがたせつかん ふんきゆう すそ  
井原市で産出する浪形石で造られた家形石棺が墳丘の裾に残されています。明治の終わりに  
壊されたときに掘り出されたものです。

なみがたいし いえがたせつかん ほか こふん きび ゆうすう きほ ほこ ゆうりよく ごうぞく  
浪形石の家形石棺をもつ他の古墳は、吉備でも有数の規模を誇る有力な豪族のものばかりで  
す。王墓山古墳の主も同じような有力者であったと思われます。また、これを裏書きするのが、  
しゆつど しぶつ しじゅうきよう こんどうせい ばく つかがしら かちゅう てつせいぶく  
出土した四仏四獣鏡や金銅製の馬具をはじめ、柄頭、甲冑、鉄製武具などの豊富な副葬品です。

とうきょうこくりつ はくぶつかん しゅうぞう  
これらは現在、東京国立博物館に収蔵されています。